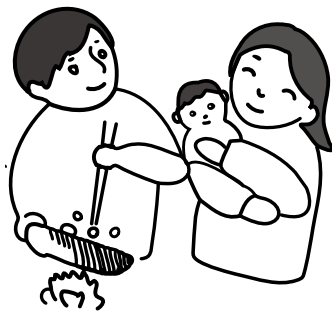


自分らしく Vol.4

長久手市男女共同参画情報紙（中学生向け）

● 家庭では



みんなでやった方が
楽しいし、
早くできるね！

家族みんなで協力して、家事、子育て、介護などを行い、明るく楽しい家庭生活を送ります。

● 地域では

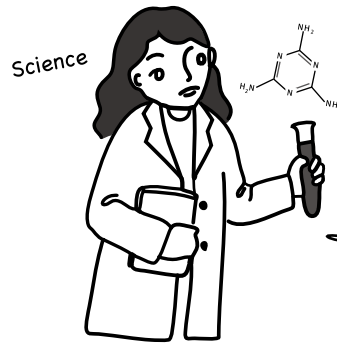


みんなが住みやすいまちに
したいから、みんなで一緒に
活動したいね。

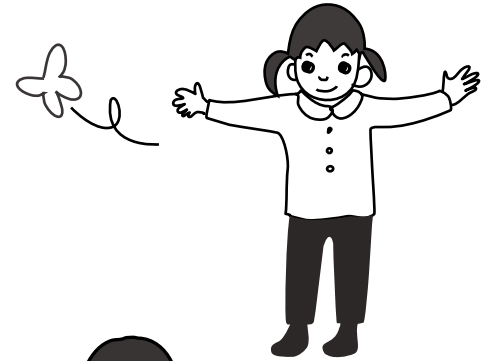
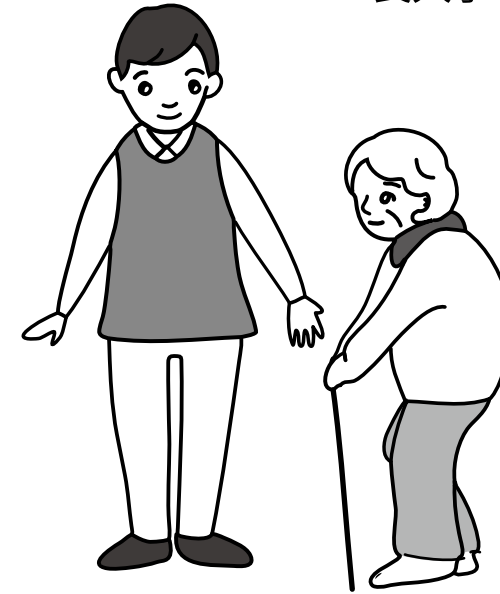
同じ地域に住むみんなが地域の課題に取り組むことで、みんなが住みやすい地域になります。

● 職場では

一人一人が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮して、いきいきと活躍しています。最近では会社の中に託児所たくじよを設けるなど、男性も女性も子育てをしながら働き続けることができるように工夫する企業が増えています。



女性の科学者や電車の運転士、
男性の保育士や看護師など、
いままで少なかった職業に
つく人が増えています。



あなたの将来の夢は？



すてきな関係きずけていますか なくそうデートDV

人と人との関係で大切なこと。それは「自分のことを大切にすること、それと同じくらい「相手のことも大切にすること。みなさんは、普段から心がけていることですね。



でも、「好きな人」との関係で、こんなことはありませんか？
例えば、自分の気持ちを無理やりおしつかけたり、他の友達との付き合いを邪魔したり、携帯電話を勝手にチェックしたり…
これでは「すてきな関係」とはいえませんね。

他の女の子と
しゃべらないで！



自分の気持ちを大切にしながら、相手の気持ちも尊重することで、「好きな人」との、そしてあなたの周りのすべての人とのすてきな関係をきずいていきましょう。

「男女共同参画」ということばを聞いたことがありますか？

性別にかかわらず、みんなが自分の個性と能力を発揮できる社会が、男女共同参画社会です。みなさんにとっては「そんなの当たり前！」ですね。

でも気がつかないうちに、「オトコ」だから、「オンナ」だからという理由で、自分のやりたいことや好きなことを我慢したり、選択の幅を狭めたりしていませんか。

一人一人が性別にかかわらず自分の夢や希望を広げ、お互いに仲良く助け合って生きていくことができる社会を実現するために、一緒に「男女共同参画」について考えてみましょう。

<作成協力>

「自分らしく vol.4」は、長久手市広報 学生記者との協働で作成しました。<発行> 2014（平成26）年4月
愛知県立芸術大学 美術学部デザイン工芸科 井上舞香さん
愛知淑徳大学文学部国文学科 家崎麻代さん

<編集> 長久手市男女共同参画審議会

2014（平成26）年4月
長久手市役所たつせがある課 〒480-1196 長久手市岩作城内60番地1
TEL 0561-56-0602 FAX 0561-63-2100
HP <http://www.city.nagakute.lg.jp/index.html>

お仕事についてインタビュー！

みなさんは将来、どんな仕事をしたいですか？市内で活躍する2人の方に、この仕事を選んだきっかけややりがいを聞いてきました。



長久手市
デイサービスセンター
さつき

かいごふくしし
介護福祉士

はまむら ひでき
濱村英樹さん

ご利用者の方々との触れ合いから
教わるがたくさんあります！
とてもやりがいのある仕事です！

Q1. この仕事を目指したきっかけは？

学生時代はサッカーの指導者を目指していました。人と触れ合えるということを第一に職業を探したところ、とても近い距離で人と触れ合える介護の仕事に出会い、全く知識のないまま介護の世界に飛び込みました。

Q2. 仕事内容は？

ラジオ体操や脳トレなど常に体や頭を使うプログラムを組み、ご利用者の方々が自立した生活を営むことができるようになるためのサポートをしています。また、命を預かる仕事でもあるので、ご利用者の方々の状態や居場所などをしっかりと把握するために職員同士のチームワークを高め、声かけなどを通して情報共有を徹底しています。

Q3. 仕事の中でのやりがいは？

ご利用者の方々に笑顔になっていただくことはもちろん、リハビリなどに対してやる気をもって取り組んでもらうことです。初めは座ったまま取り組んでいた「ラジオ体操」が、半年後には、ほとんどのご利用者の方々が立って取り組むことができるようになり、「夏祭りに盆踊りを立って踊る」という目標も達成することができました。ご利用者の方々のご家族にも喜んでいただいています。

Q4. これからの働き方は？

自立支援の場なので、過介護でない、ご利用者の方々の残存能力を活かした介護をチームとして目指しています。また、仕事をするうえで男性・女性といった様々な視点から、それぞれの特性を活かしてチームで協力し合い、介護サービスの質を高めていきたいと思っています。このような努力の積み重ねによって、福祉の仕事の重要性が社会に認識され、さらに担い手が増えていけばうれしいです。

Q5. 皆さんにメッセージ

まずは夢に向かって一生懸命に進んでください。その夢は途中で挫折することもあるかもしれませんが、一生懸命やったことは無駄にはならないし、何かに必ず生きてくるはず。また、人との出会いを大切にしてください。困ったときや嬉しいときの気持ちを共有してくれる人がいれば、様々な困難も乗り越えていけますし、人生が豊かになると思います。



トヨタ自動車株式会社
社会貢献推進部
歴史文化室

トヨタ博物館
企画・広報グループ

なかむら ゆい
中村由以さん

とにかく毎日が充実しています！
仕事も楽しみの一つです！

Q1. この仕事を目指したきっかけは？

中学生の頃は歌手か、社会で活躍できる「何か」になりたいと考えていました。このような漠然とした思いのなか、大学生活を送り、就職活動をしました。そんななかでトヨタ自動車への推薦枠があることを知り、この会社なら社会で活躍できる場が広がるかもしれないと思い、決意を新たに、企業研究に努力して、入社することができました。入社後、トヨタ博物館に配属されました。

Q2. 仕事内容は？

トヨタ博物館は、より多くの方に自動車の文化を伝えるためにトヨタの自動車だけでなく、世界中の様々なメーカーの車を展示している施設です。クラシックカーの収集・保存・研究活動を軸に企画展などの展示企画を行う「学芸」の仕事と、その活動を多くの方に知ってもらうために働きかける「広報」の仕事があり、私はその中で広報と、ホームページやfacebookの運営管理などを担当しています。

Q3. 仕事の中でのやりがいは？

元々インターネットを使ったコミュニケーションが好きでした。そこでトヨタ博物館の楽しさをWEBで伝えたいと思い、「クルマ文化を通じて新たに興味をもったり楽しんだりしていただくこと」をめざしてfacebookページを立ち上げました。facebookでクルマを様々な角度から楽しんでくださる方々の反応を通して、想い描いたものが実際に目の前にカタチとして現れたことがとても嬉しく、やりがいを感じました。

Q4. これからの働き方は？

仕事と生活を分けて考えてしまうのではなく、仕事も生活のなかの楽しいことの一つとしてとらえ、仕事、趣味、家族との交流などをバランスよく充実させていくことが大切だと思います。生活全体がバランスよく充実していると、様々なことを乗り越える力になったり、自分の力を意外なところで発揮できたりして、仕事の成果にもつながっていくと思います。

トヨタ博物館企画・広報グループの一日

- 8:15 出社
・本日の段取り
・メールチェック
- 8:45 業務
- 12:15 昼食
- 13:15 業務
- 17:15 翌日の段取り
- 17:45 終業



トヨタ博物館の広報は、公に発表するトヨタ博物館のニュースの作成や、チラシポスター等の制作、facebook投稿など情報をアウトプットしていく仕事で、社内外と頻りにやりとりして制作を進めます。すべてに締め切りがあるためスケジュール管理が重要で、週に1度くらいは、全体スケジュールの進み具合をチェックしながら、その日の優先順位を決め、業務にとりかかっています。



介護福祉士の一日

- 8:30 送迎開始
- 9:30 朝の会
ラジオ体操、「今日は何の日」を紹介。
- 11:35 嚥下体操
口や頬を動かして口の働きや飲み込む力を強くする体操。食事の前に行うことで、唾液で食べ物を飲み込みやすくします。
- 12:00 昼食
- 休憩・自由時間
パズル、バランスゲーム等の脳トレをします。食器ふきや洗濯物たたみも行います。
- 14:00 レクリエーションの時間
体や頭を使ったレクリエーション、手工芸、月間行事、ボランティアによる演奏会等。
- 15:00 お茶・おやつの時間
- 15:30 リハビリ体操
帰る前にナースによる脳トレや機能訓練を30分ほど行います。
- 16:05 帰りの会
「今日は何の日」確認。「なんなん長久手」を合唱します。
- 16:15 送迎開始



「さつき」の夏祭り



第24回クラシックカー・フェスティバル
<報道受付>2013年